

令和7年度在宅ケアとくらしの調査（在宅介護実態調査）概要

1. 調査目的

在宅介護実態調査は、在宅生活を送る要介護認定者の「在宅生活の継続」や「介護者の就労継続」に有効な介護サービスのあり方を検討することを目的として、3年毎に実施しています。

前回の調査は令和4年度に実施し、今回は第10期介護保険事業計画・高齢者福祉計画策定に向けて実施しました。

2. 調査概要

今回の調査は、日本老年学的評価研究機構が実施する「在宅ケアとくらしの調査」として実施しました。

本調査では、国の示す調査票雛形に市独自の質問項目等を追加して調査を実施しました。

3. 調査対象

次の(1)～(3)すべてに当てはまる方（合計約1,200人）のうち、1,000人

(1) 鳥取市在住の65歳以上の要介護1～5の認定を受けている方

(2) 在宅で生活されている方

(3) 更新申請・区分変更申請による要介護認定調査を受ける又は受けた方

4. 調査期間

令和7年12月1日～12月22日

5. 調査方法

郵送による配布・回収

6. 回収状況

407票（回収率40.7%）